

## 「牛に学ぶ。牛を学ぶ。学生募集」

中国四国酪農대학교

7月も後半に入り、高原と呼ばれる蒜山にも厳しい日射しが降りそそぎ、学生たちはもう夏休みモードです。夏休みといっても酪農대학교の学生は結構忙しくしています。2年生は4月から引き続き農家研修に励んでいますし、1年生の半分は学校に残り、通常の牧場実習をこなしています。また、資格取得に向けて、炎天下、牽引の練習や繁殖の実習がスケジュールリングされています。学生たちは「あつい、だるい」と文句いいながらも生き生きと取り組んでいます。目の前に一つずつ、クリアしていく目標や課題が設定されていると、スムーズに資格取得が実現します。

本校の実践的酪農教育は、即戦力の人材を育成するために工夫を凝らしたカリキュラム編成となっています。入学してから1年間は、付属牧場で乳牛の飼養管理の実習をこなしながら、各分野の専門講師から酪農全般にわたる広範な知識を得ることができます。経営に直接役立つ様々な資格を取得できるように指導を受けることができます。2年次には、選んだ牧場で長期研修を受け、現場での経験をつむことができます。農家研修が終わると、すぐに研修論文、卒業論文の締切りが待っていて、それと同時に就職活動も行わなければなりません。そういった意味ではほっと一息つく暇もないかもしれません。

卒業生の就職状況を見てみると、最近是非農家出身の学生が過半数となってきたこともあり、牧場勤務や酪農ヘルパーになったり、農協、乳業会社、農業関連会社などに勤める学生が増えてきました。本校卒業生は酪農に関する知識技術を習得していると酪農業界では高い評価を得ており、学校には多くの求人が寄せられます。また今年は、初めての試みで、職業訓練生の受け入れも行いました。本校は日本で唯一の酪農専門の学校ですから、日本の酪農の将来を担う人を育てていると言っても過言ではありません。

最後になりましたが、この夏には本校の将来を左右する大きなできごとがありました。平成24年度から中国四国酪農대학교の専修学校化が決定しました。それに伴い、現在の教育カリキュラムのさらなる見直しを行い、より柔軟に、酪農現場に対応できる人材を送り出すべく、充実した教育システムにしていきたいと考えています。また本校を志望する学生にとっては、奨学金を受ける機会が広がるというメリットが得られます。ぜひ、本校を若い酪農を志す皆様の学びの場として選んでください。そして充実した2年間を過ごし、立派な酪農人へと成長してください。ご応募をお待ちしております。



1年生 削蹄の練習風景

H23 学生募集案内について詳しくは酪農대학교ホームページをご覧ください。

HP : <http://ww4.et.tiki.ne.jp/~jerko/>

問合先 (教務課)

TEL : 0867-66-3651

FAX : 0867-66-3652